

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
21・8・24(火)
南NEWS no 50

毎日、家で学習する習慣がついて
いますか。

読書の習慣はついていますか。

6年生は卒業までに毎日の自宅学習の癖、読書の癖
をつけてくださいね。

塾へ行っているから大丈夫なんて思わないでくださ
いね。八王子市内のある中学校の校長先生が小学校の
卒業式での来賓挨拶で、「毎日の自宅学習の癖をつ
けて中学校へ入学してください」と話していました。

各学年の毎日5分の計算ドリル・漢字ドリルを南の
全員に配ります。その10分も入れて自宅学習の習
慣・癖をつけてくださいね。読書も見えない学力とい
う大切な学力です。

b y 南の安版万



むさしのリーグ6年生

8月22日(日) くじら公園サッカー場

○めあて

- ・5つ観て判断, コーチング
- ・チャレンジ&カバー
- ・パス&ムーブ



v s 本宿戦

予選リーグ 5チーム総当たり 15分1本

○第一試合

南八王子0 - 2 本宿

シュート数 南0 本宿4

ヒロト君・ハヤト君・カイリ君のDFのGAMBARIが目立ちました。

GK→SB→SHと繋ぐことはできるのですが、そこでつぶされてしまいま
す。従って、ミドルサード(バイタルエリア)を越えてアタッキングサードに
ボールを進めることができませんでした。

ドリブルで突破する力、味方を使ってワンツー突破するコレクティブな攻め
wも観られませんでした。

DFでは奪われたら即ゲゲンプレッシングで飛びかかるようにして奪い返
すプレスバック(プレスバックは相手の背後からプレッシャーをかけ、味方と
相手を挟み込むことでボールを奪います。攻撃的選手の守備戦術で、サッカ
ーの勝敗を大きく左右する重要なプレーです)は観られず相手のドリブル突破
を止めることはできませんでした。

サッカーはコミュニケーションのスポーツと言われますが、めあての1に挙
げた五つ(ボール・相手ゴール・味方・相手・スペース)観て判断は達成され
ませんでした。CBのヒロト君のコーチングの声がわずかに聞こえるだけでし
た。めあてはお飾りではないはず。



v s 多摩川戦

○第二試合

南八王子0 - 2 多摩川

シュート数 南0 多摩川7

ボールを持った相手にアプローチをして、簡単に足を出してかわされていま
した。

ディレイ(相手の攻撃を遅らせて味方のプレスバックを俟つ)ができない。

“ディレイ!”(遅らせる!)の声もない!!

この試合はめあて1のコーチングをした子は6人に増えた。やればでき
る!!2のチャレンジ&カバーは2人。3のパス&ムーブは残念ながら0だっ
たのです。!

○第三試合

南八王子0 - 4 YNK

シュート数 南0 YNK9

相手のWタッチのドリブルでペナへの突破を許し失点を重ねました。南には
ドリブル・ターンの技がほとんど観られません。ドリブル力の差。

トップが渡り廊下のスペースへダイアゴナルラン(ダイアゴナルランとは、
FWやウイングの選手が斜めに走り抜けて味方のパスを受けるプレーを意味し
ます)の動きもなく、渡り廊下を使つての攻めも観られませんでした。5つ観
るのスペースを観ることができず、スルーパスは皆無!足下へのパスばかりで
した。



v s 富士見丘戦

○第四試合

南八王子0 - 7 富士見丘

シュート数 南0 富士見丘9

富士見丘のドリブルのレベルの高さとパス&ムーブに翻弄された試合。

しかし、CHカツヤ君がドリブルやターンで中盤を突破したり、ユウセイ君
のワンツー攻撃も一度だけでしたが観られました。CBのヒロト君もただ前に
蹴るだけではなく前の味方をよく観てスルーパスをフィードしていました。

決勝トーナメント 15分ハーフ

○予選リーグ5位南八王子 v s 予選リーグ4位本宿

南八王子0 - 5 本宿 前半0 - 5

シュート数 南3 本宿7

前半は5点取られましたが、後半はGAMBARI、相手のシュートは0、南は

3と健闘！LSBカイリ君の最後尾からのドリブル突破！シュートは惜しくも右に外れました！

○トーナメント敗者戦 vs 予選リーグ3位多摩川

南八王子0-7多摩川 前半0-3

シュート数 南0 多摩川10

攻めこんでいるサイドのDFが上がらないためDFとMFの間が空き、攻めも北斗七星の形ができず、数的優位の攻めもできません。DFとMFの空いた空間でミドルシュートをいくつも決められていました。

つるべの意識がないのでバックラインの修正ができません。そのためDFのチャレンジ&カバーができませんでした。

GAMBAっていたDF陣ですが、DFの同一視ができないため、ボールウォッチャーになるため、南ゴール前の相手がフリーになり、楽々とシュートを決められていたのです。

曇りがちの天気でありましたが、午後は日差しが強くなり、高温多湿なコンディション、過酷な試合になってしまいました。

子どもたちの水筒も空になった子が多く、審判でも活躍してくださったヒロト君・アキラ君のお父さんに、果糖・クエン酸・アミノ酸・塩化Na等配合の清涼飲料水の買い出しをお願いし、子どもたちに配りました。

中盤でDUELできる選手、相手守備陣を突破するスピードと強さを持つストライカーがこの日は参加できなかったことの影響はあったとしても、

課題は

- ・5つ観て状況を的確に判断する力、何をするか選択する力、伝え合う力
 - ・アイデアを達成するためのドリブル・ターン・キックの技術、コレクティブな攻守の力量アップ！
- などが挙げられます。

試合の合間、多摩川の河川敷ニセアカシアの緑陰で、 みんなで出し合った仲間の良いところ

- ・アキラ君 ピンチを救っていた。スプリントをしていた。
- ・ダイスケ君 ナイスセービングを連発していた。
- ・ハルト君 体が強く、くさびを受けていた。
- ・ヒロト君 コーチングをしていた。後ろから良いパスを出していた。
- ・カイリ君 最終ラインからドリブルで中央突破、シュートをしていた。
- ・コウスケ君 よく動いて、プレスバックを一生懸命していた。
- ・ショウマ君 技が良かった。ミドルサードでGAMBAっていた。
- ・ユウゴ君 相手に体をあててボールをキープしていた。



- ・ユウセイ君 パス&ムーブをして、ドリブルが上手かった。
- ・ハヤト君 DFでGAMBAり、GKも良かった。
- ・ショウタ君 よくスプリントしていた。シュートが良かった。

仲間の良さを認めることは、学びになり、自分もというモチベーションのアップになります。

どの学年でも、仲間の良さを認め合う時間を取ってほしいです。
よろしく願いいたします。

毎日ボールに触る 一つのことに打ち込む

日本代表の久保選手・原口選手も自分の部屋や近所で毎日ボールにさわって蹴っていたそうです。一つのことに打ち込んでいたのです。

矢上も中学時代は家が学校のすぐ近くだったこともあります。練習のない日も学校に行ってボールを蹴っていました。

必ず何人か集まってきて、雨の日もボールを蹴っていました。水たまりにわざとスライディングしたのも楽しい思い出です。

毎日ボールに触る日々。そんなこともあって矢上は10番を背負って、CF・キャプテン、春の学徒総合埼玉県大会準優勝をすることができました。高校で埼玉県のベストイレブンに選ばれる2人がいたからでもあるのですが。

高校では日が暮れてボールが見えなくなると、200mのトラックを10周のインターバル走。3年生の学徒総合大会で浦和南を破って埼玉県ベスト4に入り、1年後輩のチームは翌年、埼玉県を制して全日本高校選手権に出場したのです。後輩たちは毎日の朝練に自主的に取り組んでいたのです。

南の3期生は4年生から矢上が教えて、5年生の時は他のチームの6年生を相手に八王子やブロックのタイトルをすべて獲得したのです。全国大会出場を目差して休みは月曜日だけ、あとの火・水・木・金・土・日は練習や試合の日々でした。国学院久我山のエースとして活躍した松村君は監督に「教えたいことを全て教わってきている」と言われたそうです。嬉しいコメントでした。

6年生の春、全日本予選都大会では1回戦で富士見丘に1-2で敗れ、夢はついえました。富士見丘はその大会の決勝に進出し、秋の東京都大会では見事優勝しています。

全日本予選都大会の試合が縁で富士見丘の斎藤先生の推薦を得て、府ロクの高山先生(現・日本サッカー協会(JFA)第4種大会部会長)の支持により南はむさしのリーグに加盟を許されたのです。全日本大会に代表を送ること9回のむさしのリーグに仲間入りをしたのです。

秋のさわやか杯都大会で白百合が2度目の都大会優勝を遂げた時、南は準々決勝で白百合と対戦し0-1で惜敗したのです。この大会のベスト8は読売SCを除いた7チームはすべてむさしのリーグでした。府ロク・富士見丘・白百合・鹿浜レグルス・保谷東・東久留米・南八王子の7チームでした。

東京都代表のメンバーに選ばれた南の先輩は2人います。ブラジル代表も参加した国際大会に出場しています。歴史ある南、今の6年生は45期生です。毎日ボールに触って、先輩に続いてほしいです。

一つのことに打ち込む経験・努力は学習・その他のことにも生きてきます。

